

文部科学大臣杯全日本少年少女けん玉道選手権大会の 競技種目変更について

競技会推進委員会

第38回大会（令和8年）より、文部科学大臣杯全日本少年少女けん玉道選手権大会の競技種目を以下の通り変更いたします。

記

<現行>

- ③ つるしとめけん～地球回し
- ⑩ 灯台とんぼ返り



<変更後>

- ③ つるし一回転飛行機
- ⑩ つるし一回転灯台～とんぼ返り

背景

文部科学大臣杯全日本少年少女けん玉道選手権大会は、協会主催の小学生日本一を決定する、池袋サンシャインシティ噴水広場で開催される全国の小学生けん玉プレイヤーのあこがれの舞台で行われる、技の高い精度と美しさが要求される大会です。

第36回大会（令和6年）において

- ③つるしとめけん～地球まわし
- ⑤すべり止め極意
- ⑩灯台とんぼ返り

の成功率が90%を超えており、第37回大会（令和7年度）の成功率を注視していました。

結果、⑤すべり止め極意 は少し成功率が抑えられたものの、③つるしとめけん～地球まわし、⑩灯台とんぼ返り は相変わらず90%を超える高い成功率でした。

大会にて、これらの技が最終選技で選択されると、勝負が予想出来てしまい、また、タイム競技はなるべく抑えて技で勝負して欲しいという競技会推進委員会の考え方から、技を変更することを決定しました。

本大会では急激に難易度の高いものや、全く目新しいものを導入するべきではなく、他大会などで採用されている技で、難易度を上げたものを採用しました。

新③つるし一回転飛行機 はJKAジュニア杯で採用されており、段位認定でも採用されている技であることから決定しました。

新⑩つるし一回転灯台～とんぼ返り はかつて全日本選手権でも採用されており、また、とんぼ返りの部分は、サンシャインシティの観戦者のリアクションが良いことから残す意味で、採用に至りました。

以上